



⑤ 張麟声 著

『日中ことばの漢ちがい』

(くろしお出版)

日本語と中国語で同じ漢字を使う語は多くあり、意味が一致しているものも多々あります。しかし、同じ漢字語を使用する語の意味を全て同じと考えてしまうと、大きな誤解を招く恐れがあります。

本書では、日本語と中国語で同じ漢字を使う様々な語の日本語と中国語での意味が紹介されています。日本と中国の言葉の違いがトピックを交えて楽しく理解でき、中国語理解に大変役立つことと思います。

820.4-Cho (N.I.)

⑦ 大串夏身 著

『文科系学生の情報術』

(青弓社)

情報が氾濫している現代社会では、それを効率良く収集する必要があります。ただ闇雲にインターネット上をさまよっては、目的とする情報にはなかなか辿り着けません。本書は調べ物をする際の、判りやすい水先案内役として大いに役立つことでしょう。関連リンクも数多く掲載されており、ネットで不十分な分野には参考文献も紹介されています。レポートや卒論作成の際におススメの1冊ですが、日常生活で知っておくと便利な項目も掲載されています。

007.5-Ogu (T. F.)



⑥ レジス・ビュルネ 著 加藤隆 訳

『新約聖書入門』

(白水社)

西洋文化を理解するには、その根底を流れているキリスト教についての知識が必要だと言われていますが、日本でもイエス・キリストが馬小屋で生まれたと言う話や、十字架に掛けられて処刑されたという話など、よく知られています。しかし、キリストの生涯を描いている新約聖書がどのようにして成立したかについては、あまりよく知られていませんでした。本書は、こうした疑問に親切に答えてくれると共に、その歴史的背景や成立過程を解りやすく解説してくれています。

193.5-Bur (F.O.)

⑧ 京都商工会議所 編

『京都・観光文化検定試験：公式テキストブック 改訂版』

(淡交社)

京都・観光文化検定試験が一昨年度から実施されています。本書は公式のテキストブックですので、受験する方は必読ですが、試験を受けない人でも充分興味を持てる内容です。神社仏閣はもちろんのこと、京料理、京菓子、京ことばについても細かく説明されており、京都を奥深く知ることができます。

旅行会社を就職先のターゲットに考えている4年次生の方、フリーガイドクラブに所属されている方には、読んで得する情報が満載の一冊です。

291.62-Kyot(N. K.)